

平成 29 年度事業報告書

1. 概況

日本経済は、雇用・所得環境の改善が進む中で、緩やかな回復基調が続いています。雇用・所得面では、有効求人倍率が上昇し、失業率が更に低下しているほか、総雇用者所得もプラスで推移しているなど、引き続き改善が続いています。

就業者数が増加している一方で、女性や高齢者を中心に労働参加率が上昇しているために、労働時間の短縮化が進み、一人一時間当たりの仕事量でみた総労働供給の伸びは限定的であります。

少子高齢化の進展に対して、労働参加率が大きく上昇して労働力人口は維持されています。

今後の経済成長のためには、更に労働参加を高めつつ、労働移動の円滑化など、多様な取組を同時に進めていくことが重要であります。

本町は、農・漁業及び観光業が盛んで、定年の無い業種の担い手となっている方が多くみられるため、会員の働く場が限られています。特に、公共施設の管理業務は多くの会員が望んでいます。

近年急速な人口流出による人口減少のため、60歳以上の人口比率が昨年度42.9%より0.6ポイント上昇し43.5%となり、地域の担い手としてこれまでに培った高年齢者の知識と経験を活かすことが期待されている方の会員加入が、昨年度より2人(男5人減少、女3人増加)減少し119人(男86人、女33人)となりました。

また、経常収益は、前年度比47万円増収の49,647,897円で、主な増収科目は受託事業収益54万円、主な減収は県及び町の補助金7万円となりました。経常費用では、前年度比59万円減額の48,908,715円で、主な減額科目は通信運搬費8万円、減価償却費8万円、委託料17万円、管理費49万円の減額でありました。

地域からシルバー人材センターへの期待が一層高まるよう会員一人一人の活動やボランティア活動を通して、その役割と活動を広く町民に理解してもらえるよう、会員と役員が一体となり、活力ある地域社会づくりに貢献できるセンターを目標に事業を推進して来ました。

(1) シルバー人材センター事業

① 就業受注事業

就業を希望する就業の機会を確保し提供しました。また、家事支援事業は高齢者世帯などの日常生活の応援を今後も支援していきます。

② 各種研修会・講習会、職群班研修事業

センター事業を円滑に実施するため、役員及び会員を対象とした各種研修会などに参加し、資質の向上を図りました。

③ 安全・適正就業対策事業

事業の実施にあたり、会員の安全かつ適正な就業を行うため、安全意

識の向上、作業中の事故防止、就業形態の適正化を図るため安全委員会を開催し協議しました。

④ 普及啓発事業

シルバー通信の年 2 回発行と啓発用チラシを作成し、会員及び各種団体に広く周知し会員を募りました。

⑤ 調査研究事業

シルバー人材センター事業発展のため、バスの中で会員研修を実施し、京都府宇治市（国宝・世界遺産；平等院鳳凰堂）で視察研修を行い 34 名の参加があり、会員相互の親睦を図りました。

(2) 実施報告

① 運営体制の整備と強化

会員主体のセンター運営を目指しました。

② 会員の自主運営体制の強化

会員自身が、センター事業の基本的な理念及び仕事の仕組みを理解し、事業に取り組む体制づくり継続してきました。

③ 会員の加入促進

会員募集の拡充及び普及啓発を継続して行っています。

④ 就業機会確保普及啓発の推進

シルバー通信の年 2 回発行と啓発用チラシを作成し、情報の発信に努めました。

⑤ 安全就業・適正就業

会員の就業中及び就業途中の事故防止に一層努めるため、安全委員会を開催し、安全就業対策に努めました。

⑥ 会員の意識改革

シルバー人材センター事業が、地域住民から認められるように、ボランティア活動で会員 21 名が参加し、南知多 J A 会館付近の草刈及び剪定を実施しました。

⑦ 職業紹介事業の推進

県連合と連携し、臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、職業紹介事業を実施しました。

⑧ 公益社団法人としての適正な運営

公益社団法人として、適正な法人運営を図りました。

⑨ 会員表彰（定時総会表彰）

会員就業規約に基づき会員を表彰

第 10 条第 1 号該当 表彰状（10 年連続就業） 4 名